

2019年3月23日

アジア共同行動日本連絡会議 御中

被爆二世の会 代表 寺中正樹

アジア共同行動日本連絡会議の第24回総会の開催、おめでとうございます。

平素は被爆二世の会の活動にご尽力頂きありがとうございます。毎年広島で行っている8・6広島青空式典では貴会の青年・労働者にご参加頂き、感謝しております。昨年は韓国からの参加はありませんでしたが、若者からビデオメッセージが届き、韓国の人々と共に核兵器廃絶・侵略戦争反対・原発の廃絶を訴える場としての式典が作り出されました。

また11月には2018岩国行動をともに行えました。

昨年は南北首脳会談と板門店宣言、朝米首脳会談が実現しました。そうした状況の中で、元徴用工裁判で韓国大法院は新日鉄住金や三菱重工に賠償を命じました。元徴用工の中には被爆者の方が含まれていました。また、長崎で被爆し、現在は韓国に住む男性3人が長崎市に被爆者健康手帳の交付を求めた裁判では、長崎地裁は、長崎市に手帳交付を命じる判決を下しました。3人は戦時中に三菱重工業長崎造船所に徴用され、被爆したと、長崎市に被爆者健康手帳の申請をしましたが却下されたため、提訴しました。

戦後73年経ってもまだ、戦後補償が終わっていません。ましてや朝鮮民主主義人民共和国に住む、被爆者や元徴用工などの方々への補償は一切されていません。

しかし、安倍政権は韓国の元徴用工に対する戦後補償をすべて終わったことにし、新たな戦争の準備をしているように思えます。シナイ半島多国籍軍・監視団(MFO)へ、自衛官2人を派遣しようとしています。派遣が決定すれば、安全保障関連法施行で可能となった「国際連携平和安全活動」の初適用となります。自衛隊を憲法に加えるのも諦めていません。しかも、いずれ自前の核兵器を持つようとしているかのようです。原子力発電に執着しているのも、そのためのようには思えてなりません。上関原発建設計画についても未だ撤回に至っていません。米軍岩国基地への空母艦載機部隊の移駐が終了し、岩国基地は東アジア最大級の米軍航空基地となりました。また、萩市へイーグリス・アショアを配備しようとしています。イーグリス・アショアは防衛のためではなく、敵基地攻撃のためのものです。

トランプ政権は潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)に搭載する小型核弾頭の生産を始めたと明らかにしました。2018年の「核体制の見直し(NPR)」では新たな小型核兵器や核巡航ミサイルの開発、核兵器を使わない攻撃への反撃にも核を使用する可能性にも言及しました。

私達はどこの国の核実験、核開発・生産にも反対します。また、祝島の人々と共に上関原発建設に反対し、岩国市民と共に米軍岩国基地拡大反対の声を上げ、萩市民・阿武町民と共にイーグリス・アショア反対の声を挙げ続けます。さらに全国被爆二世団体連絡協議会と共に国連人権理事会での取り組みや被爆二世集団訴訟を行い核と人類は共存できないことを訴えます。

今後もアジアから核の恐怖を取り除き、米軍基地を撤去させるために共に闘いましょう！

総会のご盛会を祈ります。